

## 栃木県支部だより

### 中川洋一

今回の支部だよりは、毎回同じ内容では飽きられてしまいますので、少し趣向を変えて、透析医会に限らず栃木県全体の紹介も含めながら筆をすすめていきたいと思います。

#### 1 栃木県ってどこにあるの？

栃木県は関東平野の北端に位置し、全国的には「栃木県って、どこにあるの？」という程度の認知度のことが多いようです。実際に、2016年47都道府県別魅力度ランキング（ブランド総合研究所発表）では第46位となっており、お隣の群馬県第45位、茨城県47位と北関東3県で最下位を争っています。このことはバラエティ番組の好ネタとなっており、「南東北の県」などと「イジられる」ことが多い県です。昨秋行われた県知事選挙でもどうランキングを上げるか、が争点となるほど地元では話題になっています。

一方、栃木県が全国一の生産量のものといえば、いちご、大麦、かんぴょうなどの農産物、工業製品ではカメラ用交換レンズ、歯科用機械器具など意外なものが全国第1位の出荷額を誇っています。このように、目立たない県ではあるものの、県民はそれ相応の誇りを持って暮らしています。

さてこの栃木県において、透析施設数は74施設を数えており（日本透析医学会名簿による）、県人口196万8,400人余から計算すると26,600人に1施設となり、全国平均の29,372人に1施設よりやや高密度となっています。さらに県内には自治医科大学、獨協医科大学の2医科大学があり、それぞれ腎臓内科・透

析部門が充実しています。これらのため、県内の透析患者は充実した透析環境にあるといえるでしょう。

#### 2 栃木県臓器移植推進協会による調査

毎年、日本透析医学会の調査では御苦労されている施設も多いと思いますが、栃木県ではもう一つ公益財団法人臓器移植推進協会による調査があります。これは、県内各透析施設の協力を得て、①慢性透析療法導入時に報告書を提出してもらい、②年末には各透析施設在籍者の実態調査を行う、というものです。煩雑なようですが、透析療法導入時のデータ、導入理由などを提出していただき、当医会の目黒輝雄先生が委員長を務める透析委員会において、年1回透析導入の適正性を検討しています。

さらに年末の実態調査は、透析医学会の調査と類似していますが、異なる点は患者の居住地と施設の所在地、および公費負担状況を調査していることがあげられます。このため、透析患者の分布や移動が把握でき、透析施設の過不足、夜間透析施設の過不足、患者の分布の偏り、公費負担の状況などがよくわかるようになっています。これは医療政策立案上、非常に役立つ情報であり、この調査の重要な点といえるでしょう。

またこの調査は透析医会でも率先して協力を呼びかけているため、例年ほぼ全施設から提出されており、透析施設と行政側との円滑な協力関係が築かれるための大切な礎となっています。

### 3 栃木県支部の最近の活動

栃木県支部では、これまでに「新型インフルエンザ対策」、公開市民講座「腎臓病患者の災害対策」などいくつかのユニークな試みをしてきました。また平成

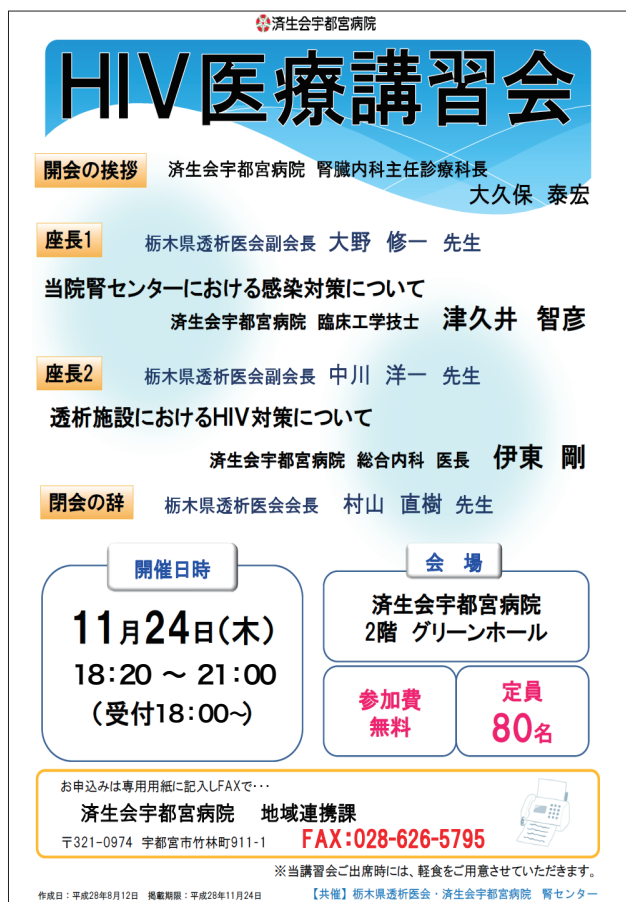
28年も「透析関連の診療報酬改定について」、「全身血管病と治療の進化」、メーカーとの共催では、肝炎対策、腎性貧血、末梢動脈疾患などについての勉強会を重ねています。

最近の試みとしては、平成28年11月24日の「HIV医療講習会」があります(図1参照)。これは厚生労働省がエイズ予防財団に委託し、透析医療従事者向けにHIV医療講習会を行うという趣旨のものですが、日本透析医会より各支部に募集要項が送られてきたので、御存知の医会も多かったものと思います。栃木県支部ではこれにいち早く応募し、助成を得て講習会を行いました。

この講習会では、エイズ拠点病院の済生会宇都宮病院腎臓内科の久保泰宏先生の全面的な協力を得て、HIV陽性の腎不全患者の医療について、病診連携、維持透析がスムーズに行えるように企画しました。これまで本県では、HIV陽性透析患者はエイズ拠点病院で維持透析が行われることが通例でしたが、この講習会を契機にHIV医療への理解がさらに深まり、病診連携がスムーズになることが期待されます。

### 4 さいごに

日本透析医会栃木県支部(栃木県透析医会)は、84%と高い加入率を誇り、良質な透析医療を提供するために日夜奮闘を続けています。「栃木県ってどこにあるの?」などと言わず、全国の透析医会の先生方には暖かく見守っていただければ幸いです。



**HIV医療講習会**

**開会の挨拶** 済生会宇都宮病院 腎臓内科主任診療科長 **大久保 泰宏**

**座長1** 栃木県透析医会副会長 **大野 修一** 先生  
**当院腎センターにおける感染対策について**  
 済生会宇都宮病院 臨床工学技士 **津久井 智彦**

**座長2** 栃木県透析医会副会長 **中川 洋一** 先生  
**透析施設におけるHIV対策について**  
 済生会宇都宮病院 総合内科 医長 **伊東 剛**

**閉会の辞** 栃木県透析医会会長 **村山 直樹** 先生

**開催日時**  
**11月24日(木)**  
**18:20 ~ 21:00**  
 (受付18:00~)

**会場**  
 済生会宇都宮病院  
 2階 グリーンホール

**参加費 無料**      **定員 80名**

お申込みは専用紙に記入しFAXで...  
**済生会宇都宮病院 地域連携課**  
 〒321-0974 宇都宮市竹林町911-1 **FAX:028-626-5795**

※当講習会ご出席時には、軽食をご用意させていただきます。  
 作成日：平成28年9月12日 掲載期限：平成28年11月24日 【共催】 栃木県透析医会・済生会宇都宮病院 腎センター

図1 HIV医療講習会案内状